

平成30年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 賑わいと魅力あるまちづくり事業費

予算額 22,193,000円

決算額 20,705,173円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>1-1 観光振興・タウンプロモーション推進事業</p> <p>※区民会議関係【地域振興課】</p>	<p>自然や文化施設といった多摩区の豊富な地域資源を活用し、区民や多摩区観光協会をはじめとする多様な主体との協働により、区の魅力をその内外に積極的に発信し、交流人口の増加を図りながら地域の活性化につながる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区観光協会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○日本民家園を中心とした生田緑地PR動画の制作、活用 ○地域資源の新たな魅力を発信するピクニックイベントの開催 ○区内関連イベントへ「ピクニックタウン多摩区」として連携・協力 ○facebookや各種媒体を活用したピクニックタウン多摩区のプロモーション ○各種観光ポスターの作成 ○地域情報誌(タウンニュース等)による区内の魅力・情報発信 ○多摩区観光情報ホームページによる情報発信 ○観光ガイドブック、「はなもす」の作成 ○登戸ペDESTリアンデッキバナー作成・掲出 ○地域イベント出店(あじさい祭り、民家園通り商店会夏まつり、多摩区民祭、狛江市民祭り) ○都市間交流事業(千葉県南房総市、静岡県藤枝市) ○観光ボランティアガイドによる各種ツアーの実施(ガイドツアー11回) ○多摩区ガイドマップの作成</p> <p>人や地域がピクニックでつながる「ピクニックタウン多摩区」の浸透・定着を図り、誰もが住んでみたい、住み続けたいまちを目指し、区内関連イベントとの連携・協力を図った。また、インバウンドを意識した日本民家園中心の生田緑地紹介動画を制作、活用した。多摩区観光協会との協働により観光ガイドブックの発行、ホームページ「多摩区見どころガイド」の更新等による広報・宣伝活動や、地域イベント・行事への出展、広報支援といった取組を実施し、区の内外に多摩区の魅力を発信した。さらに、多摩区の交流都市である千葉県南房総市や、狛江市等の近隣都市において、それぞれのイベントに出展しPR活動を行った。市外からの転入者向け及び来訪者向けとして、区の全体の地図と観光スポット等の見所を紹介するガイドマップを作成した。</p>	<p>予算額：13,487,000円 決算額：12,986,452円</p>
<p>1-2 音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>市の重要施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進することで、区民が音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、多摩区での地域資源を活用して地域への関心や愛着の醸成を図ることができる。また音楽を通じて、区民や音楽家同士の連携による地域交流の促進や、地域の活性化を推進する。</p> <p>(1)「生田緑地ばら苑開苑60周年記念コンサート」の開催 (2)「たま音楽祭」の開催 (3)「たまアトリウムコンサート」の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○生田緑地ばら苑開苑60周年記念コンサートの開催。(5/19(土)、ばら苑来場者4,237人) ○たま音楽祭の開催。(12/1(土)、来場者約2,700人) ○たまアトリウムコンサートの開催。(6/20、8/8、2/20及び60回記念コンサートを10/17多摩市民館大ホールで開催。来場者各回平均200人、60回記念コンサート650人)</p> <p>音楽を通じ、区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、区の魅力をアピールすることができた。生田緑地ばら苑開苑60周年記念コンサートは、関係機関等と連携し、区の魅力の一つであるばら苑を広く発信するとともに、区民の身近な場所で良質な音楽と憩いの場を提供した。たま音楽祭は、実行委員会形式による区民発意の企画運営を行った。たまアトリウムコンサートは、年4回開催し、区民が、身近な場所で気軽に音楽に親しむ機会を提供した。</p>	<p>予算額：3,527,000円 決算額：3,399,384円</p>
<p>1-3 多摩区スポーツフェスタ事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>地域のスポーツ推進を目的として、誰もが参加でき、気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ行事「多摩区スポーツフェスタ」を開催する。川崎市多摩スポーツセンター等を会場として、スポーツに親しむ機会の提供と優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動の促進を図るとともに、スポーツセンターをはじめスポーツ推進委員会や総合型スポーツクラブなどの各種団体との連携や区民同士の交流を図り、スポーツを通じたまちづくりを進めることを目的とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区スポーツフェスタ実行委員会 ■開始時期：平成25年度</p>	<p>○多摩区スポーツフェスタの開催。(3/10(日)、来場者延べ3,062人) ○多摩区スポーツフェスタ実行委員会の開催。《6回(うち運営部会1回)》</p> <p>川崎市多摩スポーツセンターと周辺中学校の施設を活用し、スポーツ推進委員会や総合型地域スポーツクラブなどの地域スポーツ関係団体等と連携して、本市や区にゆかりのあるプロスポーツチームなどによるスポーツ教室やスポーツ体験など合計22種目26体験教室を実施した。特にオリンピックメダリストによる水泳教室や障害者スポーツ体験(車椅子アメフト)を目玉種目として実施し、区民が1日様々なスポーツに親しみ楽しむことができる事業を実施することができた。</p>	<p>予算額：1,500,000円 決算額：1,370,084円</p>

<p>1-4 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 賑わい継承事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>市制 100 周年や区画整理事業完了を見据え、登戸地区区画整理事業推進中の「今」しかできない取組として、刻々と移り変わるまちの姿を記録する。景観が大きく変化する地区は、定点撮影し記録する。過去の写真は必要に応じてデジタルアーカイブを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成 26 年度 	<p>○アーカイブのホームページ及び写真を保存するサーバーのシステムを構築。 ○定点撮影ボランティアの募集を行い、2 か所での定点撮影を開始。 ○基本方針に基づき、区ホームページ等でアーカイブの写真を募集し、借用した写真をデジタル化し保存を行った。 ○登戸記憶のアーカイブホームページで収集した写真を公開し、収集した写真を閲覧できるようホームページの管理・運営を行った。</p> <p>写真を広く公開することで、多摩区の中心市街地である登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わいを引き継ぐとともに、魅力あるまちづくりの向上に向けた事業発信を行うことができた。</p>	<p>予算額： 402,000 円 決算額： 401,760 円</p>
<p>1-5 多摩区エコロジーライフ事業</p> <p style="text-align: center;">※区民会議関係 【企画課】</p>	<p>地球規模の課題である地球温暖化の問題を解決するためには、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが必要である。多摩区役所では、区民がエコロジー(自然環境保護、地球温暖化防止)に、家庭(日常生活・ライフ)で身近に取り組める地球温暖化防止策を紹介するなど、市民活動団体等との協働による地球温暖化緩和策を推進する。</p> <p>(1)緑のカーテン大作戦の実施(2)リユース食器普及啓発事業の実施 (3)小学生向けエコ関連の啓発イベントの実施(4)地球温暖化対策パネル展の実施 (5)エコの取組の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成 21 年度 	<p>○夏休み！多摩区エコフェスタの開催。(8/3(金)、参加者約 750 人) ○地球温暖化防止パネル展の実施。(8/3(金)) ○緑のカーテン大作戦の実施。 ○地域イベントへのリユース食器の貸出し。(5 件、1,640 個)</p> <p>エコに関連したイベントの開催など、地球温暖化防止に向けた取組を地域住民・団体と協働で推進し、区民の環境意識の向上を図ることができた。区役所施設における緑のカーテン大作戦については、市民活動団体との協働並びに有志の区役所職員(ゴーヤ見守り隊)と実施し、緑の保全・緑化並びにヒートアイランド対策の取組を区民に周知することができた。</p>	<p>予算額： 429,000 円 決算額： 405,633 円</p>
<p>1-6 水辺の愛護活動事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会・自治会をはじめ地域関係団体で河川敷のごみ回収など、清掃・愛護活動を協働で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成 20 年度 	<p>○清掃用具の配布 二ヶ領用水沿いの町内会・自治会に対し、日頃の用水沿いの清掃活動に用いる清掃用具を配布し、活動支援を行った。(6 団体)</p> <p>二ヶ領用水のより良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。</p>	<p>予算額： 149,000 円 決算額： 131,976 円</p>
<p>1-7 自然体験のつどい実施事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>区内の青少年をはじめ区民に、自然の豊かさや大切さを認識し、郷土への理解と愛着を深めてもらうことを目的として、ネイチャーゲーム(自然体験プログラム)や自然の材料を活かしたおもちゃづくり等の催しを生田緑地において開催し、区民が自然と触れ合い、学び、感じられる機会を提供することで、多摩区の豊かな自然環境の維持と発展に貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：自然体験のつどい実行委員会、区役所地域振興課 ■開始時期：平成 2 年度 	<p>平成 25 年度から生田緑地の管理に指定管理者制度が導入されるなどした結果、生田緑地にて様々な事業者が自然体験のつどいと同趣旨・目的の事業・イベントを実施するようになってきたことから、今後は、事業目的の達成状況やニーズを把握しつつ、直接事業執行する形態から、他の実施主体による同様の事業への出店協力等を行う形態に移行することとした。</p> <p>平成 30 年度には、実際に 1 件の調整を実施した。</p>	<p>予算額： 850,000 円 決算額： 0 円 流用額： -330,000 円</p>
<p>1-8 多摩川環境啓発展示事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>「水と緑と学びのまち・多摩区」の象徴ともいえる「多摩川」に生息する淡水魚等を飼育管理し、区民が自然や生物に身近に親しむ機会を提供するとともに、多摩川への愛着を深め、環境意識を啓発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成 2 年度 	<p>○多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供。 ○単なる水槽ではなく、多摩川のことを知り愛着を深めてもらうツールとして展示。</p> <p>年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供し、庁舎内に憩いの場を創出することで、多摩川への愛着・関心、郷土への思いを深めてもらうとともに、自然環境への意識啓発を図ることができた。</p> <p>また、展示物についても四季に応じたパネルの変更等を行った。</p>	<p>予算額： 779,000 円 決算額： 648,000 円</p>

<p>1-9 多摩まちかど祭開催事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催し、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。地域に根ざしたより身近な場所で舞台公演することにより、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立てる。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちかど祭実行委員会、区役所地域振興課 ■開始時期：平成3年度</p>	<p>○多摩まちかど祭の開催。(10/20(土)に生田緑地内で22団体(大人134人、子ども295人)が出演、参加者約92,000人)</p> <p>区民公募により、大人から子どもまで幅広い層の出演者による舞台公演を実施。伝統芸能やダンス、コーラスなどを披露する場を身近な地域に設定することで、文化・芸術の発信の場とすることができ、地域コミュニティの形成にも大きく貢献できた。</p>	<p>予算額：823,000円 決算額：1,114,884円 流用額：312,000円</p>
<p>1-10 区民祭開催経費</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>区民一人ひとりが担い手となる祭りを通して、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：事業補助 ■実施主体：多摩区民祭実行委員会 ■開始時期：平成26年度(地域課題対応事業費として)</p>	<p>○多摩区民祭の開催。(10/20(土)に生田緑地内で73店舗が出店(展)、参加者約92,000人)</p> <p>地域に根ざした自然と文化施設のある生田緑地において、区民公募や地域活動団体の出店・展示場所を提供し、緑地内3施設の特別割引や広い会場を利用したアトラクション、抽選会等を行い、多くの来場者が訪れ、地域の活性化と区民の連携を深めることに一定の成果をあげた。</p>	<p>予算額：247,000円 決算額：247,000円</p>

Ⅱ 安全・安心まちづくり事業費

予算額 5,191,000円

決算額 3,343,525円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 市民防災活動支援事業 【危機管理担当】	地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成と、区民等の防災意識の向上を図るため、防災フェアや防災講座等の啓発活動を開催する。 防災フェアは、消防署や各局等の関係機関、防災について貢献する事業者、地域防災の主体となりうる地域団体と連携して運営する。 防災講座は、地域住民の防災力向上、啓発に効果があると見込まれる内容での講演会、研修等を実施し、地域住民の防災力向上を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成 18 年度	○防災意識の向上や防災対策の強化を図るため防災フェアを開催。(8/3(金)、参加者 750 人) ○災害対応能力の向上を図るため救急法基礎講習を開催。(9/26(水)、参加者 29 人)	予算額：434,000 円 決算額：434,000 円
2-2 多摩区危機管理事業 【危機管理担当】	災害対応力の向上・定着のため、班別強化研修を実施し、継続的に研修を実施する。 災害時に対応の拠点となる区本部や避難所等において、的確で迅速な災害対応を行うために必要な物品等を整備する。災害による区内の被害を軽減するため、多摩区防災連絡会議を通して、関係機関との取組の強化と情報の共有を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成 25 年度	○災害時に区本部で使用する備品、装備品を整備。 ○職員を対象とした基礎的な研修を実施。 ・基礎防災研修 4 回 (5/9(水)、5/16(水)、5/23(水)、5/30(水)) ○医療部会を開催。(2/12(火)) ○避難所運営会議で、避難所運営訓練を実施。 (稲田小・長尾小・枳形中・登戸小・中野島小・東菅小・生田中・三田小・東生田小・南生田中) ○県立高校にて一時避難訓練を実施 ・県立多摩高校 (3/22(金))	予算額：2,167,000 円 決算額：848,147 円
2-3 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、区民・地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取り組む推進体制を整備する。地域が一体となって、犯罪発生を抑止や交通安全意識の普及、交通マナーの向上を図る。 (1)防犯・防火・交通事故防止・自転車放置防止のための路面標示や啓発看板・電柱幕の設置 (2)安全・安心に関するイベントやキャンペーン等における啓発活動の実施 (3)犯罪被害防止等を目的とした防犯出前教室や防犯セミナーの実施 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会、区役所危機管理担当 ■開始時期：平成 17 年度	○町内会・自治会、老人クラブ、PTA 等による地域防犯パトロール、見守り活動を支援するため、パトロール用ベスト、のぼり旗等を貸与。 ○交通安全意識の高揚と交通事故防止につなげるため、春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において、地域、警察、行政が連携して交通安全及び自転車放置防止の啓発キャンペーンを実施。 ○交通安全意識や防犯意識の高揚につなげるため、交通安全と防犯の統合イベントである「多摩区安全・安心フェスタ」を実施。(12/26(水)、参加者 450 人) ○交通安全意識の定着を図るため交通安全教室を実施。(幼稚園、保育園、小学校等で延べ 108 回、参加者 11,141 人)	予算額：1,272,000 円 決算額：1,162,769 円
2-4 自転車利用安全マナーアップ促進事業 ※区民会議関係 【危機管理担当】	中学生・高校生や地域住民を対象にスケアード・ストレート方式(スタントマンが交通事故を再現し受講者が恐怖を直視する)の交通安全教室を実施し、安全で確実な自転車の乗り方等、ルールとマナーを習得させ交通事故抑止を図る。また、小学生に交通安全標語を募集し、優秀作品を地域に掲出することで地域住民の交通安全意識の向上を図る。 (1)スケアード・ストレート方式交通安全教室の実施 (2)区内小学校の児童を対象とした交通安全標語の募集及び優秀作品の看板作成・設置 ■事業対象：区内小学校生徒の児童、区内中学校の生徒、区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成 25 年度	○自転車のマナー違反が引き起こす恐怖(交通事故)を直視するスケアード・ストレート方式の交通安全教室を実施 ・市立南菅中学校(5/25(金)、生徒 283 人、地域住民 25 人) ・市立稲田中学校(9/7(金)、生徒 862 人、地域住民 4 人) ○区内の小学校の児童から自転車利用マナーアップに関する交通安全標語を募集。応募 2,474 件(1,346 人) 最優秀賞(区長賞)、特別賞の表彰を実施。(12/26(水)) ○優秀作品を標語看板(電柱幕)に加工して通学路に設置したり、受賞した児童を一日警察署長とするキャンペーンを実施。	予算額：1,172,000 円 決算額：765,726 円

<p>2-5 多摩区動物愛護推進事業</p> <p>【衛生課】</p>	<p>学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上発生する様々な問題解決へと繋げることにより、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。</p> <p>(1) 「いのちの授業」の実施 (2) 「どうぶつ愛護フェア in たま区」「動物愛護パネル展」の開催 (3) 動物愛護・適正飼養のための講習会の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所衛生課 ■開始時期：平成 27 年度</p>	<p>○多摩区内小学校 5 校（10/3（水）・1/29（火）南菅小学校、10/2（火）・10/9（火）中野島小学校、10/18（木）三田小学校、10/25（木）・10/26（金）菅小学校、12/6（木）生田小学校）にて、心音拡大器を使用し、いのちの大切さを学ぶ「いのちの授業」を実施。全 19 クラス、計 547 人</p> <p>○動物愛護思想の普及啓発のため「どうぶつ愛護フェア in たま区」「動物愛護パネル展」を開催。（フェア 9/8（土）：参加者約 300 人、パネル展：9/7～9/11）</p> <p>○2/16（土）「適正飼養セミナー【災害と向きあうペットとともに】」を開催（2/16（土）：参加者 50 人</p>	<p>予算額： 146,000 円 決算額： 132,883 円</p>
-------------------------------------	---	---	---

Ⅲ たまっ子を育てるまちづくり事業費

予算額 11,002,000円

決算額 9,631,154円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>3-1 多摩区幼・保・小連携事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育所等・小学校が連携を図り、連絡会の開催や保育実習研修等の実施により支援体制づくりを進める。</p> <p>また、区内の幼稚園・保育所等・小学校の教職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら相互協力・連携を進める。</p> <p>■事業対象：区内の幼稚園・保育所等・小学校 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保育所等・地域連携 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○日常交流の推進。(園児、児童対象) ○授業参観、行事参観、懇談会の実施。 ○実務担当者連絡会議開催(年2回)、園長・校長連絡会議開催(年1回)、代表者連絡会(年1回) ○保育実習研修の実施(夏期休業中他) ○ちらし「生活リズムをつくりましょう」の作成、配布。</p> <p>平成23年度(70施設)から参加対象を区内の全ての幼稚園・保育所等・小学校(小規模保育園、私立小学校を含む85施設)として事業を実施し、地域における連携のさらなる充実を図ることができた。</p> <p>また、保育実習研修について小学校教諭のみならず幼稚園教諭、保育士が互いの保育現場を見合う機会を設置したことで、就学前の子どもや教育・保育内容の理解等について、関心・必要性の高さを確認するとともに、さらなる連携の在り方についても考えを深める機会となった。</p>	<p>予算額：244,000円 決算額：184,904円</p>
<p>3-2 幼児の発達支援事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>幼児に精神及び社会性の発達に遅れがある場合、育ちにくさや育てにくさがあり虐待のリスクが高く、虐待予防の観点からも支援が必要である。</p> <p>また、早い時期から周囲の理解が得られ、療育等の必要な支援や環境の調整が行われることが大切である。そのため、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査後のフォローとして、グループダイナミクスを活用した事業(「プーさんキッズ」、「たま遊びの会」と3歳児健康診査個別相談事業)を実施する。</p> <p>■事業対象：児童の養育に困難さや心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援担当 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○1歳6か月児健康診査後のフォロー教室「プーさんキッズ」の開催。(年12回、参加者155組) ○3歳児健康診査後のフォロー教室「たま遊びの会」の開催。(年12回、参加者105組)</p> <p>心理相談員・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が連携して多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施したことで、育児不安の軽減が図れた。また、親が子どもの発達を理解し、その子に合った対応ができるように支援することができた。</p> <p>発達の遅れが疑われた場合、心理相談員による個別相談を実施したことにより、保護者が児の成長をどのように受け止めているかを十分把握し、慎重に療育を促すことができた。</p> <p>発達の偏りから育てにくさやコミュニケーションの取りにくさがある場合、虐待のリスクが高い。この事業を実施し、支援することで虐待予防に繋げることができた。</p>	<p>予算額：1,185,000円 決算額：1,155,197円</p>
<p>3-3 たまたま子育てまつり開催事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、子育て支援団体、関係機関、行政等の協働により「子育てまつり」を開催する。親子で参加し楽しめる企画の実施、子育てサークルの活動紹介や子育てに関する情報の発信、親子で楽しめるホールイベント等により、子育て世代に役立つ知識・技術を普及し、区民が交流できる場、体験・学びの場を総合的に提供する。</p> <p>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○たまたま子育てまつりの開催。(9/16(日)、参加者約4,500人) ○リーフレット「多摩区子育て」の発行。(4,000部) ○参加団体数(公募)：42団体</p> <p>平成28年度から地域みまもり支援センター主催の「健康フェスタ」と同日開催を行っており、子どもから高齢者まで幅広い世代がおまつりに参加し、多くの区民が交流を深めることができた。ステージイベントや工作、子どもの人権の普及啓発など、親子がともに参加して学び楽しめる有意義な企画のほか、多摩区の子育て情報を掲載したリーフレットの作成・配布、大ホールイベント等を開催した。また、地域の子育て世代に必要な情報や学びの機会を多様な手法で提供し、子育て支援に取り組んだ結果、多摩区をより知ってもらう機会にもなった。当日は天候にも恵まれて多くの来場者があり、区民が期待を寄せる地域に根付いた事業で、企画参加者からも次年度以降の継続希望と高い満足度を得た。</p>	<p>予算額：469,000円 決算額：469,000円</p>
<p>3-4 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>「多摩区地域子育て情報ブック」や「多摩区子育て応援メッセージ」冊子等の作成及び配布、地域子育て情報を掲載したホームページの運営、子育てアプリへの情報掲載、掲示板やちらしコーナーでの情報提供などを通じて、親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へ繋げる機会とするなど、子育て家庭のニーズに応じた多様な情報提供を行う。</p> <p>■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域ケア推進担当 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○「多摩区地域子育て情報ブック」の発行。(5,000部) ○「地域子育て支援センター」リーフレットの発行。(2,000部) ○「多摩区子ども相談窓口案内」の発行。(9,000部) ○「多摩区子育て応援メッセージ」冊子。(4,500部) ○「もっと外で遊ぼう」リーフレットの発行。(10,000部) ○ホームページの更新等。《子育てWEB更新年1回(他随時)》 ○「子育てアプリ」等による情報掲載。(年41件) ○ちらしコーナーでの情報提供や広報支援。(年間随時)</p> <p>「多摩区地域子育て情報ブック」については、区役所・行政サービスコーナー、子育て関連施設等で配布した。</p> <p>地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援については、親の育児不安の軽減へ向け、アドバイスや地域の支援体制・施設を紹介する「多摩区子育て応援メッセージ」冊子、地域子育て支援センターの案内ちらしを作成し、区内の子育て関連施設で配架閲覧や希望者への配布を行った。</p>	<p>予算額：1,765,000円 決算額：1,697,987円</p>

<p>3-5 多摩区子ども総合支援推進事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>地域の子育て支援団体や関係機関等と「多摩区子ども総合支援連携会議」を開催し、区内の子育てに係る実態調査の分析から課題の共有や取組の方向性について検討等を行い、策定した「多摩区子ども・子育て支援基本方針」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら課題解決に向けた取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりを推進する。また、子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域ケア推進担当 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○連携会議3回、地域会議を5地区で実施。 ○子育て支援パスポート事業の実施（パスポート配布数1,762枚） ○こどもの外遊び交流事業の実施（交流イベント3回） ○子育て支援者養成講座の実施（連続講座15回） ○子育て支援者スキルアップ研修の実施（2回） ○子ども・子育て支援講演会の実施（1回）</p> <p>地域の子育て支援活動団体や関係機関・行政が、区の子育ての課題を共有し、「多摩区子ども支援基本方針」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら、地域全体で課題解決に向けた子育て支援に取り組む地域づくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：4,513,000円 決算額：3,545,353円</p>
<p>3-6 子ども・子育て支援推進事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>区内公立保育所の場と人材を活用し、発達に即した保育場面の体験や、保育士、看護師、栄養士らが地域に出向き、子育てに関する様々な不安や相談に対応することを通して身近な悩みに応える地域支援を推進する。食事終了までの保育体験及び区内保育所職員（認可外を含む）の研修・交流研修等を実施するとともに、地域の子ども・子育て支援の拡充、区内保育所等の交流・連携の促進、及び職員の人材育成事業の拡充を図る。</p> <p>(1)地域子育て支援事業、民間連携・人材育成関連事業 (2)多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業 (3)多摩区玩具貸し出し事業</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者、認可保育所と認可外保育施設の保育士・園児 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保育所等・地域連携 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○「親子でランチ」（食事付き保育体験）の実施。（年60回各回2組、参加者190人） ○保育連続講座（栄養士・保育士・看護師）の実施。（計18回、延べ参加者182人） ○人材育成研修の実施。（スキルアップ研修年5回、参加者412人） ○「おいでよ！たまっ子」～あおぞら保育～の実施。（全27回、参加者2,263人） ○公開保育付職員交流研修（全15回、参加者67人） 人材育成においては、現在の保育行政の動向や緊急性のある保育課題や保育所におけるニーズに対応した研修を実施しスキルの向上に繋がった。 ○親子のふれあい、子どもに関わる身近な相談・情報を提供。また、歌や手遊び、体操、お誕生等の催しを3地区で実施。（全27回、参加者1,477人） ○9月「たまたま子育てまつり」に参加。（参加者1,156名） ○3月「親子ミニコンサート」を開催。（参加者210人） ○「ママとあそぼうパパもね情報」「子育てワンポイント」等の子育て情報提供をホームページで月1回発信。 ○公立保育園3園の地域支援担当者会議（年9回）、公私立地域支援担当者会議（年1回）、「ママとあそぼうパパもね」の連絡会（年2回）を開催。 ○地域での子ども子育てを支援するため、玩具の点検やニーズの把握等を行い玩具貸し出しを行う。</p>	<p>予算額：1,484,000円 決算額：1,292,945円</p>
<p>3-7 地域子育て力向上事業</p> <p>【地域みまもり支援センター】</p>	<p>核家族化・少子化、近隣関係の希薄さ等子育て世代を取り巻く環境の変化により、孤立化、育児力の低下、育児不安や育児負担感をもつ親が増加している。保健師が地域の方々と、子育て中の親子が気軽に集まれる場である「地域サロン」等を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流や地域住民との交流を推進する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援担当 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン(4か所)の開催。(44回、参加者1102人) ○育児支援グループ(4か所)の開催。(36回、参加者423人) ○各種健診・産後相談(計108回)、育児相談(12回)に保育士及びボランティアを配置。</p> <p>地域サロンや育児支援グループでは、保育士やボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができ、地域とのつながりを持つことができた。また、子育てを楽しんでいると感じる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ることができた。 保育士やボランティアを配置することで、各種健診・相談において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	<p>予算額：1,342,000円 決算額：1,285,768円</p>

IV 地域福祉・健康のまちづくり事業費

予算額 3,847,000円

決算額 2,910,691円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 地域包括ケアシステム推進事業 【地域みまもり支援センター】	誰もが住み慣れた地域や本人の望む場で安心して暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」を推進する取組を実施する。 ■事業対象：区民、区内の福祉関連団体等 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所地域みまもり支援センター ■開始時期：平成28年度	○多業種ネットワーク団体等と連携し、区民を対象とした講座を通じ、広く区民に「在宅療養/在宅介護」をはじめ、「地域包括ケアシステム」の普及啓発を実施。(7/2(月)、12/4(火) 公開講座実施) ○区内を5地区に分け、地域特性に応じた地域づくりを推進。町内会・自治会ヒアリングを12団体で実施。地域住民を対象にした集会を1回実施。地区の取組レポート発行(3,000部) ○増加する認知症への理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる地域づくりを推進するため、小学校高学年(14校)を対象に認知症サポーター養成講座、中学校(4校)を対象に認知症講演会を実施。 ○地域の多様なニーズに対応するために、地域福祉の推進を図ることが求められており、これらの担い手として期待されるシニア世代が、これまでに培った経験・知見を活かし、積極的に地域活動に参画できるよう、リーフレットを作成・配布。(800部作成/配布)	予算額：2,652,000円 決算額：1,871,903円
4-2 健康づくり推進事業 ※区民会議関係 【地域みまもり支援センター】	多摩区の地域資源を活かした特色ある事業を実施することで、幅広い世代の交流促進と、健康づくり及び食育に対する普及啓発を行う。 (1)健康づくり普及啓発イベント「多摩区健康フェスタ」の開催 (2)健診受診意識の向上及びセルフケアの啓発のためのポスターの作成・配布 (3)健康づくり活動の場づくり (4)小学校の特別授業における歯科健康教育事業の実施 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域支援担当 ■開始時期：平成20年度	○健康づくり普及啓発イベント「多摩区健康フェスタ」を地域の健康づくり介護予防関連団体を中心とする実行委員会方式で実施し、健康に関する情報発信及び体験、参加団体の活動紹介を行った。平成28年度から「たまたま子育て祭り」と同日開催。(9/16(日)、700人参加) ○働き盛り世代の女性の健康づくりを推進するためのポスターを1,500部作成した。 ○区民主体で健康づくり活動を継続できる場を増やすために、主に活動の立ち上げ支援として物品購入や広報(チラシの作成)を行った。 ○小学校の特別授業における歯科健康教育事業を実施した。(3か所)	予算額：830,000円 決算額：727,599円
4-3 パサージュたま開催事業 【地域みまもり支援センター】	障害福祉に関する理解と関心を深めるため、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行う。 また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し、広く参加を呼び掛けている。 ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域みまもり支援センター ■開始時期：平成20年度	○障害に関する活動をしている団体・作業所等が、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等行う「パサージュ・たま」を年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催。 ○広報誌を6,650部作成し、区町内会・自治会に配布。(2年ごとに作成) 同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解し合うことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムを活用し、障害者自身と多くの人々が直接関わり合える場を提供している。 また、定期的実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：117,000円 決算額：95,689円
4-4 精神保健普及啓発事業 【高齢・障害課】	多摩区の精神保健福祉に関する課題の解決に向けて、地域が抱える問題をテーマにした講演会を開催するなどして、精神保健福祉の普及啓発を進めていく。 また、多摩区の精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組む。 ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区精神保健福祉連絡会議 ■開始時期：平成20年度	○「児童・思春期におけるメンタルヘルス」から連続性あるテーマに、精神保健福祉連絡会議(年4回)や講演部会と広報部会(年8回)において講演会を企画し、「思春期・成人期にかけてのメンタルヘルス～その人らしさを生かすために～」と題した講演会を開催した。(2/28(木)、参加者104人) 講演会には、当事者と家族、関係機関の方々が多く参加され、特に具体的な事例の発表は好評で、思春期のメンタルヘルスについての関心の大きさがうかがえた。 ○広報活動としては、12月に講演会の開催告知を小・中学校だけでなく、高校や専門学校・大学など範囲を広げ、関係機関に16,000部配布し、より多くの区民に対して、精神保健福祉の普及啓発を行うことができた。	予算額：248,000円 決算額：215,500円

V 市民自治を進めるまちづくり事業費

予算額 18,317,000円

決算額 17,044,348円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
5-1 多摩区地域人材育成事業 【生涯学習支援課】	平成25年度に策定した「多摩区地域人材育成基本方針」を基に地域人材の育成を進める。平成27年には、新たに市民活動等を始めようとする方を対象とした研修、すでに市民活動を行っている方のスキルアップを図る研修、市民と行政職員が一緒になって、協働による理想のまちづくりについて考える研修を行った。平成29年度は、市民活動活性化のための試行事業を実施し、生涯学習推進会議地域人材育成基本方針検討部会でその効果を検証の上、「多摩区地域人材育成基本方針」の見直し。平成30年度は、新たな「多摩区地域人材育成基本方針」が掲げる4つの視点に基づいた「新たな人材・担い手の発掘と育成」及び「活動団体の活性化と参加の機会創出」となる事業を実施し、持続可能な市民活動の活性化に向けた環境整備に取り組んだ。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所生涯学習支援課 ■開始時期：平成25年度	○「多摩区地域人材育成基本方針」に基づき、市民活動に関わるきっかけになる単発体験講座を4事業実施した。 ・緑地・ケアカフェ(2/9(土)、参加者19人) ・子育てママとパパのための防災講座(2/23(土)、参加者28人) ・多摩区をリノベーション!(3/3(日)、参加者12人) ・シニアの体験まつり(3/17(日)、参加者40人)	予算額：2,113,000円 決算額：2,077,945円
5-2 多摩区・3大学連携事業 【企画課】	区内に3つの大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)が立地するという地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施する。 (1)多摩区役所と区内3大学で構成する「多摩区・3大学連携協議会(平成17年12月設立)」の定例開催(2)「たまなびプログラム」の実施(3)地域課題解決事業(3大学連携事業)の実施(4)「多摩区3大学コンサート」の実施(5)インターンシップの実施(6)区民祭での地域貢献(7)「生田緑地エントランススポット」の維持管理 ■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：多摩区・3大学連携協議会 ■開始時期：平成18年度	○たまなびプログラムの実施 ・たまなび一日子ども商店街の開催(全7回、参加者：大学生25人・小学生15人) ・情報誌「たまなびNews」発行(年2回、区内全自治会・町内会へ回覧依頼) ○各大学と連携した地域課題解決事業の実施。 ・専修大学「地域資源の魅力再発見・発信のための「宝探しフォトコンテスト」」 ・明治大学「3Dスキャナー活用による日本民家園の魅力発掘・発信事業」 ○「大学・地域連携事業」報告会(3/15(金)) ○多摩区3大学コンサートの実施(11/17(土)、参加者約550人) ○インターンシップ生の受け入れ(6人) ○多摩区民祭への出店 「多摩区・3大学連携協議会」の運営により、たまなびプログラムの実施、3大学コンサートの実施や多摩区民祭への出店などを通して、大学と地域の交流連携を図った。また、地域の様々な課題の解決を図り、地域の活性化につなげていく取組を大学と連携して取り組んだ。	予算額：4,603,000円 決算額：4,401,028円
5-3 区民との協働によるまちづくり活動実践事業 【地域振興課】	区内の市民活動団体のまちづくりに関する活動に対する支援、並びにまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、区民が主体となって区と協働して行うことで、活動の担い手の発掘・育成に取り組みながら、他の市民活動団体では担えない中間支援的かつ公益的な役割を果たしていく。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■開始時期：平成12年度	○まちの課題を解決するためのプロジェクト活動の実施。 ○まちの課題の抽出とその解決方法に関する意見交換会(出張たまサロン 9/18(火)～9/21(金)参加者160人、10/20(土)参加710人)の開催。 ○まちづくり活動発表会(まちカツ!)の開催。(2/11(月祝)、活動紹介22団体、参加者100人) ○全体研修会(10/31(水)参加者22人)、多摩★まち大学(講座(12/4(火)参加者37人、3/2(土)参加者40人)・視察研修(11/20(火)参加者24人)の開催。 ○市民活動団体の活動紹介と交流の場(多摩★まちCafé)の開催。(11/27(火)3団体紹介、参加者41人、2/26(火)3団体紹介、参加者41人、3/20(水)3団体紹介、参加者45人) ○広報紙の発行等、広報の充実に向けた取組の実施。(年4回発行、各回2,500部) 講座プログラム「多摩★まち大学」は年3回開催し、うち1回は他都市の先進的な活動事例を学ぶ視察研修として立川市、武蔵村山市を訪問した。 その他、具体的な課題解決の取り組みとして、「エコ」と「世代間の交流とネットワーク」の2つのテーマでプロジェクト活動を行い、市民活動団体及び区民の情報交換や交流の場、学習の場の提供を進め、プロジェクト活動においても中間支援的な視点を取り入れた取り組みを進め、一定の成果を残すことができた。	予算額：3,700,000円 決算額：3,324,167円

<p>5-4 地域コミュニティの活性化促進事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>未加入世帯の増加、役員の後継者難といった、各町内会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町内会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化を図る。多摩区町会連合会と連携しながら、紙媒体の広報だけでなく、インターネット等を活用した区民への情報発信を行う。</p> <p>(1)ホームページを利用した町内会・自治会活動の情報発信 (2)町内会・自治会加入促進のための広報物の作成 (3)町内会・自治会加入促進のための講演会の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○地域コミュニティ活性化促進委員会会議の開催。 ○多摩区の町内会・自治会の活動についてホームページで紹介。 ○町内会・自治会の独自の紹介欄を設けたリーフレットを作成して未加入者への案内に活用した。(4地区) ○加入促進のため、ポスターを町内会・自治会の掲示板、区内公共施設、主要駅などに掲出するとともに、転入者向けのチラシの配布を行った。 ○町内会・自治会活動の重要性を区民に伝え、参加意欲を高めるための講演会を開催した。(3/16(土)、1回)</p>	<p>予算額：991,000円 決算額：831,600円</p>
<p>5-5 磨けば光る多摩事業</p> <p>【企画課】</p>	<p>多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。(委託料70万円上限×3団体)</p> <p>区民の自主的・主体的な事業を促進することで、生活者目線での身近な地域課題の解決を図るとともに、区民の地域への関心を深め、市民自治による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>以下の3事業が選定され、事業実施した。 ○障がい児の為に夢を叶えるチャレンジ教室事業 ○登戸まちなか遊緑地事業 ○川崎の魅力再発見!!かわさきFarmer's Market@川崎市緑化センター事業</p> <p>地域における課題が多様化し複雑化している中で、市民活動団体のノウハウを効果的に活用することで、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施し評価・検証することで、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などの洗い出しをすることができた。</p> <p>さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働による仕組みづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,211,000円 決算額：1,771,429円 流用額：-350,000円</p>
<p>5-6 多摩区区民意識アンケート実施事業</p> <p>【企画課】</p>	<p>区民に身近な総合行政機関である区役所が、地域の課題解決や地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくため、区民が日ごろ区について感じていることや、区民の地域活動に対する意識、区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査し、結果を分析する。隔年実施。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度</p>	<p>○調査期間：平成30年10月29日～11月28日 ○調査方法：郵送法 ○調査内容：生活環境の満足度、市政への参加、地域でのボランティア活動など、区役所が推進する主な取組について ○調査対象：多摩区在住の18歳以上の男女個人2,000人(外国人を含む) ○有効回答数：1,012票(有効回答率50.6%) ○報告書60部、報告書(概要版)350部作成</p>	<p>予算額：1,256,000円 決算額：1,414,746円 流用額：285,000円</p>
<p>5-7 市民活動支援事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>区民や市民活動団体が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自立と発展を支援するために、会議室及び印刷機資料づくり等に必要の備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務等を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。</p> <p>■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区民活動・交流センター運営委員会 ■開始時期：平成13年度</p>	<p>市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」で、多摩区民活動・交流センターの円滑な管理運営について協議・検討するとともに、利用登録団体同士の情報交換・交流を図り、市民活動の拡大・発展を期するため、団体間の交流を促す事業を実施した。</p> <p>○平成30年度末時点利用登録団体 174団体</p>	<p>予算額：2,107,000円 決算額：1,969,233円</p>
<p>5-8 公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業</p> <p>※区民会議関係 【企画課】</p>	<p>子育て世代をはじめとする区民に、身近な公園をより有効に活用してもらうため、区民目線で各公園の情報を紹介する「多摩区公園BOOK」について、内容をより充実した改訂版(第3版)を発行する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度</p>	<p>○多摩区公園ブック(第3版)の発行 2,500部(A5判カラー、138頁) 掲載公園数を第2版の100公園から121公園とした。また、第6期多摩区区民会議からの提言(平成30年3月)を踏まえ、地域の状況に合わせて公園をより魅力アップしていただく管理運営協議会の担い手を募集する記事を掲載した。</p>	<p>予算額：1,336,000円 決算額：1,254,200円 流用額：83,000円</p>

VI 地域課題対応事業その他経費 **予算額 1,665,000円** **決算額 748,898円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 共回事務経費 【企画課】	地域課題対応事業費の共回事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品(印刷機インク等)を購入した。	予算額：1,665,000円 決算額：748,898円

VII 区役所サービス向上事業費 **予算額 585,000円** **決算額 508,691円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
7-1 窓口サービス改善推進事業 【区民課】 【総務課】	平成16年度に区民課においてISO認証取得後、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していく必要があり、そのための窓口環境整備費用としてスタートした。現在では、区役所全体の窓口環境の改善に向け事業を展開しており、区をあげての窓口サービスの向上に資する内容となっている。 ■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所区民課・総務課 ■開始時期：平成22年度	○「区役所サービス向上委員会」を中心とした区役所サービス向上のための取組の推進。 ○区役所職員の意識の向上を図るための接遇研修の実施。(3回) ○窓口発券機システムの維持管理。 「多摩区役所サービス向上委員会」主催で接遇研修を実施し、日常の市民対応にその成果を活かすことができた。 保険年金課で稼動している番号発券機システムの維持管理により、窓口の利便性向上や混雑緩和に貢献することができた。	予算額：585,000円 決算額：508,691円

VIII 区の新たな課題即応事業費 **予算額 5,000,000円** **決算額 2,885,191円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 区の新たな課題即応事業 【企画課】	区の機能強化の取組の一環として、年度途中に発生した新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：委託、工事等 ■実施主体：区役所内各課 ■開始時期：平成26年度	区の緊急性・必要性の高い課題について、事業実施所管課と密な連携及び調整により対応した。 ○多摩区地域包括ケアシステム啓発チラシ印刷・折り業務 ○多摩区地域包括ケアシステム啓発チラシ配布業務 ○幼児の発達支援用備品の購入 ○多摩市民館大ホール客席環境整備事業 ○多摩市民館大ホール客席応急対応環境整備事業	予算額：5,000,000円 決算額：2,885,191円

I 賑わいと魅力あるまちづくり事業費	予算額	22,193,000円	決算額	20,705,173円
II 安全・安心まちづくり事業費	予算額	5,191,000円	決算額	3,343,525円
III たまっ子を育てるまちづくり事業費	予算額	11,002,000円	決算額	9,631,154円
IV 地域福祉・健康のまちづくり事業費	予算額	3,847,000円	決算額	2,910,691円
V 市民自治を進めるまちづくり事業費	予算額	18,317,000円	決算額	17,044,348円
VI 地域課題対応事業その他経費	予算額	1,665,000円	決算額	748,898円
VII 区役所サービス向上事業費	予算額	585,000円	決算額	508,691円
VIII 区の新たな課題即応事業費	予算額	5,000,000円	決算額	2,885,191円
合計	予算額	67,800,000円	決算額	57,777,671円